

2021 年度事業報告

自 2021 年 7 月 1 日 至 2022 年 6 月 30 日

- 【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」
【事業総括】

<「第19回全国真宗保育研修大会」の開催と新研修テーマ「つたえる」の発表>

2021 年度は、年度当初に「第19回全国真宗保育研修大会」（期日：2021 年 7 月 3 日／会場：難波別院）が開催された。新型コロナウイルス対応の継続により、当初の開催計画は、大幅な延期、日程変更を迫られ、関係者各位には、これまでの大会運営にはないご苦勞をおかけすることとなった。

大会参加者の多くがオンライン参加となったが、従来の研修テーマ「まなぶ」の総括点検の場として、新研修テーマ「つたえる」の起点として、全国の乳幼児教育・保育、子育て支援の現場が、これまでとは違う形でつながる機会となった。

<協会内各機関における方向性の共有と連携>

2021 年度は、諸事業の実践においても、協会内各機関における方向性の共有と連携をめざしたが、ここでも新型コロナウイルス対応が大きく影響し、以下の課題に関する協議を継続した。協議を通して、次年度以降は、『「真宗保育」保育者養成テキスト』（仮称）の具体化を基軸として、方向性の共有と連携を継続することとなった。

- ・「真宗保育」を掲げる各施設の保育者育成を目的とした、より具体的な保育実践につながる「真宗保育カリキュラム」の活用。（真宗保育研究所）
- ・「真宗保育カリキュラム」を解説、提案、企画できる保育者を養う途切れない研修事業の実施。その研修事業の公開性。（研修部）
- ・「保育心理士資格取得プログラム」による質の高い実践と、実践のフォローアップ体制構築。（保育心理士会）

<対面型の研修機会の回復をめざした取り組み>

研修事業の多くがオンライン上での実施に置き換わった昨今、この経験が、保育現場の“対話的保育実践”の大切さを再確認する機会にもなっている。協会としても、今後も継続して対面型研修の回復をめざしていくことを確認した。

<「真宗保育」の「公益性」の確かめを継続>

真宗大谷派の親鸞聖人の御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要（以下、慶讃法要）を目睫に、公益社団法人として宗派事業にかかわる意義を確認しながらプロジェクトをすすめてきた。特に、「真宗保育」の「公益性」を確かめながら、協会内各機関が連携して関連事業を継続していく。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組んだ。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

『真宗保育カリキュラム』の目的である真宗保育のより一層の深化のためには、真宗保育について「語れる人」の誕生が課題である。「語れる人」の誕生、拡大は他の乳幼児教育・保育関係者との対話を可能とし、真宗保育が広く公開されていくことにもつながる。

そのためにも各種研修会は必須の機会となるのだが、上記のように2021年度はZOOMを用いた研修会を実施した。その中でも座談会を行うことができたので、日々の保育実践を共有できたのは大きいだろう。人材養成のためには、系統的な研修会や研究会が不可欠であり、その機会提供と多くの参加呼びかけはこれからも必要である。

(2) 研修テーマ「まなぶ」の総括作業を受けた新テーマの発表

① 第19回全国真宗保育研修大会（大阪会場）

第19回全国真宗保育研修大会については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が適用されている状況を受け、オンライン開催とした。

期 日：2021年7月3日（土）

会 場：難波別院御堂会館

総合テーマ：「まなぶ」～子どもにまなぶ視座～

基調講演：「あそびにまなぶ」

～こども主体のほんとう「真」に大切「宗」な保育実践とは～

講 師：富岡 量秀氏（大谷大学教育学部教育学科 教授）

分科会：①「真宗に学ぶ」～それは真宗に私の生き方を学ぶということ～

講 師：酒井 義一氏（東京教区第5組 存明寺 住職）

②「源流に学ぶ」～大谷派における社会事業の源流～

講 師：佐賀枝夏文氏（真宗大谷派青少年センター 研究員）

③「教化実践の場である社会事業に学ぶ」

一人十色の人生観 ～暮らしの中にある念仏者の相～

講 師：太田 宣承氏（仙台教区花巻組 碧祥寺 住職）

その他：「語りに学ぶ」～ジャズ講談 ごんぎつね～

講 師：玉田 玉秀齋 with ジャズカルテット

② 次期研修テーマの検討に向けた取り組み

第19回全国真宗保育研修大会（大阪会場）の開催にあわせて、新研修テーマを発表する。協会の研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励した。

(3) 保育心理士の育成並びに活動支援の充実

① 保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して 2000 年度より始まった保育心理士資格認定事業は、現在全国に 4,096 名の保育心理士を誕生させている。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には 5 年以上の現場経験を有する 1 種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる 2 種がある。

新型コロナウイルスの状況により、オンライン開催等の方策を推進し、保育心理士育成に滞りのないよう進めた。

② 保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【(1種)同朋大学大学院、(2種)九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

③ 保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索した。

【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

(4) 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要関連事業に向けた取り組み

① 関連事業推進のためのプロジェクトの始動

協会諸事業にかかわる人材発掘の機会としてプロジェクトを始動する。加盟園の「真宗保育」の乳幼児教育・保育、子育て支援の現場の実践課題を踏まえた関連事業の検討を進めた。

② こどものうた事業総括に向けた取り組み（担当：広報部）

宗派の慶讃法要を機会に、こどものうた事業の総括として、協会の研修テーマを題材に制作してきた楽曲のアルバム及び楽譜を制作し、ひろく周知を図った。

(5) 広報・課題発信の拡充

宗派の慶讃法要を機会に、広報・課題発信の拡充を図りたい。『真宗保育』他、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報・課題発信の拡充を検討した。

長引く新型コロナウイルス感染状況下、対面型の研修機会の回復をめざしていくことと併せて、広報部・研修部が連携し、協会ホームページを活用しながら、過去の視聴覚教材等の掘り起こしをするなど、自己研鑽や情報発信の一助となるよう検討を進めた。

(6) 真宗保育の現場の人材確保に向けた取り組みの拡充

保育現場の人材確保が年々難しくなる状況において、宗派関係学校の協力、連携により、協会加盟園の周知と昨年度始動した採用情報提供の拡充に取り組んだ。

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。真宗保育の理念、実践方法などについて研究を引き続き行った。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性を図った。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、保育、教育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1.1～3』の学術的表現への展開を図った。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図った。
- ④ 研修テーマである「つたえる」について研究を進めた。具体的には経典、聖教などの言葉を用いながら学術的にアプローチすることにより、研修テーマをより重層的、多角的に学ぶ一助となるようつとめた。さらには協会内の他の部門とも連携し、協会全体で研修テーマについて深められるよう努めた。

【真宗保育研究会再開に向けた懇談会】

期日：2021年12月7日（火）、2022年1月27日（木）、4月11日（月）

【真宗保育研究会研究所会議】

期日：2022年2月28日（月）、6月22日（水）

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施した。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。
 - ・第14回保育心理研究会
 - 期 日：2022年1月23日（日）
 - 開催形式：オンライン開催（ZOOM）
 - 記念講演：子どもの生活習慣と子育て支援～幼小接続と家庭へのアプローチ～
 - 講 師：鈴木 みゆき氏（國學院大學教授）
 - シンポジウム：鈴木 みゆき氏（國學院大學教授）、五島 満氏（大谷保育協会理事）、那須 恵氏（保育心理士）

② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催し、応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行った。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行う。

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	500	626
うでわ念珠 青 子ども用	200 円	140 円	2,000	1,400
うでわ念珠 青 大人用	200 円	148 円	1,000	1,314
うでわ念珠 ピンク 子ども用	200 円	140 円		859
うでわ念珠 ピンク 大人用	200 円	148 円		779
白念珠	120 円	105 円	1,000	1,003
念珠袋	280 円	235 円	2,000	993
おつとめちょう	100 円	40 円		2,788
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円		364
八女ちょうちん	180 円	107 円	40	0
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円		0
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	814
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	862 円	-	794
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円	-	572
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円	-	1,074
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	107
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	14

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	在庫
15. 「する」から「ある」へ — 養育論の試み — (芹沢俊介)	350 円	125 円	-	1,445
16. 真宗保育をデザインする II — カリキュラム・マネジメントの視座 — (富岡量秀)	300 円	165 円	-	1,560
17. サガエさんの「講義ノート」— 真宗保育編 — (佐賀枝夏文)	250 円	180 円	1,000	1,194

(2) 新教材の発行

① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成した。

② 『真宗保育カリキュラム VOL.1』、『真宗保育ブックレット 17』を増刷した。

【広報・出版部会】期 日：2021年10月28日(木)

開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深めていく。

また、第19回全国真宗保育研修大会(大阪)で新しい研修テーマを発表し、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

研修テーマ「つたえる」からさらに展開できるようなテーマを提示し、研修を通して学び、保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努める。

(1) 研究会・研修会事業

① 第19回全国真宗保育研修大会

開催形式：オンライン開催

期 日：2021年7月3日（土）

会 場：難波別院御堂会館

総合テーマ：「まなぶ」～子どもにまなぶ視座～

基調講演： 「あそびにまなぶ」

～こども主体のほんとう「真」に大切「宗」な保育実践とは～

講 師：富岡 量秀氏（大谷大学教育学部教育学科 教授）

分科会：①「真宗に学ぶ」～それは真宗に私の生き方を学ぶということ～

講 師：酒井 義一氏（東京教区第5組 存明寺 住職）

②「源流に学ぶ」～大谷派における社会事業の源流～

講 師：佐賀枝夏文氏（真宗大谷派青少幼年センター 研究員）

③「教化実践の場である社会事業に学ぶ」

一人十色の人生観 ～暮らしの中にある念仏者の相～

講 師：太田 宣承氏（仙台教区花巻組 碧祥寺 住職）

参加者：251名

② 第64回仏教保育大学講座（真宗十派共催・真宗大谷派当番）及び事前学習会

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、今年度は中止した。

③ 新任研修会

各各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点や仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義について学びを深めた。

対 象：1年目の保育者

期 間：2022年2月26日（土）

開催形式：オンライン開催（ZOOM使用）

テ ー マ：つたえる

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所長）

参加人数：31名

⑤ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の

視座を確認し実践できるよう開催した。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 間：2022年6月25日から27日

会 場：真宗本廟・研修道場

テ ー マ：つたえる

講 師：佐賀枝夏文氏(大谷大学名誉教授)

募集人数：6名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催した。

対 象：保育者

期 日：2022年5月14日(土)

開催形式：オンライン開催

テ ー マ：つたえる

講 師：高木淳善氏(真宗保育研究所員)

参加人数：28名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑦ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させるよう検討を進めた。

⑧ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざした。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

【研修部会】期 日：2022年2月15日(火)、4月11日(木)

開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)

Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指した。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

(1) 保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

【本部主催資格取得講座】

①京都会場

《第1～6日程・修了式日程》

開催形式：オンライン開催

期 日：2021年7月11日、18日、25日、8月8日、22日、29日
9月5日

②名古屋会場

《第1～6日程・修了式日程》

開催形式：オンライン開催

期 日：2021年7月24日、31日、8月7日、21日、28日、
9月4日、11日

③東京会場

《第1～6日程》

開催形式：オンライン開催

期 日：2021年10月3日、10日、17日、24日、31日、11月14日、

《修了式日程》

開催形式：対面開催

開催場所：親鸞仏教センター

開催期日：2021年12月5日

④九州会場

《第1～6日程》

開催形式：オンライン開催

期 日：2021年10月9日、16日、23日、11月6日、7日、13日

《修了式日程》

開催形式：対面開催

開催場所：九州大谷短期大学

開催期日：2021年11月20日

【本部主催フォローアップ講座】

開催形式：オンライン開催

- ①期 日：2021年7月10日(土)
講 師：遠藤利彦氏（東京大学大学院教授・同附属発達保育実践政策学センター長）
講 題：乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達
ーウィズ・コロナ、アフター・コロナを見据え
- ②期 日：2021年7月10日(土)
講 師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授・臨床心理士）
内 容：事例検討会
- ③期 日：2021年10月30日（土）
講 師：高山静子氏（東洋大学教授）
講 題：「保育者の関わりの理論と実践」をチームで学び合うために
- ④期 日：2021年10月30日（土）
講 師：目黒達哉氏（同朋大学教授・保育心理士会認定委員長）
内 容：事例検討会

（2）保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催した。また講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して開催した。

（3）エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

（4）「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人・法人）	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

（5）その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

①期 日：2021年9月30日(木)

開催方法：オンライン開催

①期 日：2022年2月22日(火)

会 場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第14回保育心理研究会と併催

期 日：2022年1月23日

開催方法：オンライン開催

【保育心理士講師集会】

今年度開催なし

【保育心理士会幹事会】

期 日：◎2021年10月21日(木)、2022年3月3日(木)

【エリアマネージャー会議】

期 日：2022年11月5日(金)

開催方法：オンライン開催

② 保育心理士（1種・2種）養成校との協議会

【保育心理士二種養成校協議会】

期 日：2022年2月22日(火)

会 場：真宗大谷派宗務所

※オンライン開催併催

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

（１）機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」第 467～478 号を頒布した。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。
- ② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を発行した。

（２）協会ウェブサイト ホームページの運営

協会ウェブサイトのシステム不具合により、専門業者を交えての暫定的な変更を行った。システムの変更に併せて、スマートフォン対応を可能とした。今後、ウェブサイトにある各コンテンツの見直し、刷新を行いながら、情報発信を続けていく。

また、リアルタイムで情報更新を行い、各支部や加盟園の活動報告を掲載するなど協会全体で情報を共有できるようシステムを構築する。

（３）園児絵画展

加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて、京都駅公益地下ストリートギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただいた。

期 間：2021 年 11 月 13 日（土）～11 月 28 日（日）

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児
出 展 数：406 点

（４）“こどものうた” 事業

宗派の慶讃法要を機会として、2013 年度より 1 期 2 年間、研修テーマを題材として、楽曲制作を行ってきた「こどものうた」は、2021 年 7 月の第 19 回全国真宗保育研修大会（大阪）において第 4 期「こどものうた」（曲名：はじまりのうた）の制作発表を行った。今後は、この第 4 期「こどものうた」の広報活動を展開し、さらに第 5 期事業として、これまで行ってきた楽曲制作（第 1 期～第 4 期）の総括 CD アルバムを制作、発行した。

（５）広報・課題発信の拡充

協会の広報拡充として『真宗保育』、宗派の定期刊行物との連携や、オンラインによる広報展開など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

（６）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。（現在、8ヶ園の加盟園が参加している）

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努めた。全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を図った。

（1）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

（2）設置者・園長等研修会

全国真宗保育研修記念大会のお待ち受けとし、研修テーマ「つたえる」について、学びを深めた。

対 象：理事・園長・設置者・後継者

期 日：2022年4月22日

講 師：梶原敬一氏(姫路第一病院小児科部長・真宗大谷派僧侶)

開催形式：オンライン開催

参加人数：27名

（3）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

（4）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

（5）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

（6）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

（7）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭や保育士を目指す養成校の学生に向け、協会の加盟園の周知の他、就職先の選択肢の一つになることを願い、加盟園就職支援ポスターを制作した。

（8）その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送付した。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送った。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送付した。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送付した。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEB中心に適時公開した。

（１）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行う。

（２）協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会のICTインフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

今年度は、新型コロナウイルス対応の社会的状況を受け、協会としてもオンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

（３）採用情報の提供

保育士、保育教諭、幼稚園教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、大谷保育協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に関係学校の大谷大学を中心とした養成校との連携を深めながら事業に取り組む。

（４）協会をPRするパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広くPRするため、パンフレット等の作成を行う。

（５）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

（６）常務理事会に関する事項

年に3回以上必要に応じて開催。

（７）役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第24回（事業報告・決算承認）

期 日：2021年8月30日（月）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第25回（次年度予算・事業計画）

期 日：2022年5月開催予定／会場：真宗大谷派宗務所

第10回総会

期日：2021年9月15日（水）／会場：しんらん交流館

※いずれもWEB会議（ZOOM使用）にて開催する。

（８）諸会議に関する事項

① 正副部所長会 年1回以上必要に応じて開催

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行う。

② 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けた事業構

築のためのプロジェクトの始動

- ③ 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催
- ④ 新型コロナウイルス対応

- 【組織部会】期 日：2022年6月15日(水)
開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)
- 【総務部会】期 日：2021年11月9日(火)
開催形式：オンライン開催(ZOOM使用)